

## 平成24年度予算編成方針の概要

### 1 予算編成の基本方針

#### (1) 総合計画の実現を目指した重点的・戦略的な財源配分

市民ニーズや経済情勢等を踏まえ、生涯を通じた人づくりや安全安心な暮らしを目指し、より一層の施策の重点化を図りながら、総合計画に掲げる将来像「人 自然 輝きつづけるあい甲賀」の実現のための部局間連携による予算とする。

#### (2) 東日本大震災後の環境変化への対応

東日本大震災は、想定をはるかに超えた災害であり、これまでの安全性に対する考え方に大きな転換をもたらした。このことから、本市の災害対策を根底から見直すという認識のもと、将来を見据えた防災・減災対策を早急に確立するための予算とする。

#### (3) 財政健全化にむけた着実な取り組み

- ・ 持続可能で安定した財政基盤の確立にむけた「第2次甲賀市行政改革大綱」の改革の視点に基づく行財政改革の着実な実行
- ・ 「税・料金等収納向上対策強化三箇年計画・チャレンジ25プラン」に基づく市税や各種料金の滞納解消策の実行と未利用地の売却・有効活用などによる財源の確保
- ・ 将来世代の負担を軽減するため、基礎的財政収支（プライマリーバランス）の黒字化を継続

#### (4) 合併特例期間を見据えた計画的な取り組み

合併特例期間の終了後も持続可能な財政運営にむけて、その期限を見据えた計画的な予算とする。

上記の観点及び総計予算主義の原則に基づき、通年予算の編成とする。

### 2 重点施策の戦略的な推進

以下に掲げる5つの重点テーマに沿って具体的な施策を推進し、総合計画の実現にむけて戦略的に取り組むために必要な経費については、枠配分対象予算とは区別して重点的に予算化する。

#### ① 大震災を教訓に、未来へ贈る安心と夢ある暮らし

- ・ まちづくり（公共施設の耐震化、安全な道路の整備、土砂災害対策の推進など）
- ・ 人づくり（自主防災組織の育成強化など）
- ・ システムづくり（情報伝達・収集体制の充実など）

- ② **すべての世代、みんなで育むきずなと元気**
  - ・ 人権尊重の総合的な取り組みと高齢者・障がい者等の自立支援
  - ・ 幼稚園、小中学校等における教育環境や教育振興の充実
  - ・ 子育て支援体制と保育の充実
  - ・ 生涯を通して健やかに暮らせる健康づくり支援
- ③ **心をつなぎ、みんなで高める地域愛**
  - ・ コミュニティ活動への支援強化とネットワーク化の促進
  - ・ 市民による創意工夫のまちづくりのための協働の仕組み・体制づくり
- ④ **甲賀発、匠の技と大地の恵み**
  - ・ 地産地消の推進と甲賀ブランドの確立
  - ・ 地域の持つ資源の有効活用と連携による地域産業の活性化
  - ・ 農山村環境の保全と鳥獣害対策の推進
- ⑤ **歴史と自然でおもてなし、みんなで磨く甲賀の宝**
  - ・ 高速道路等を活用した観光戦略の推進
  - ・ 鉄道等の公共交通機関を活用した賑わいづくり
  - ・ 自然環境と共生した心豊かなまちづくり

### 3 その他の取り組み

#### (1) 協働事業の推進

市民協働事業提案制度によって採択された事業については、従来の枠配分予算とは区別して優先的に予算化する。

#### (2) 「ゼロ予算事業」の推進

特別な予算措置をすることなく、職員一人ひとりの積極的な創意工夫のもとで、技術・知識、資産、情報の最大限の活用や市民との協働・連携により、行政サービスの向上につながる取り組みを一層推進する。

#### (3) 「環境配慮枠」の設定による地球温暖化対策の推進

節電対策や省エネルギー化への取り組みによって地球温暖化対策の一層の推進を図るため昨年度に引き続き「環境配慮枠」を設ける。

#### (4) 事務事業の見直し等

「市民の暮らしと安全安心のさらなる向上」のため、事業の目的、効果を十分に検証し、予算に反映する。その際、執行方法の簡素化や制度改正等によって事務事業を見直すとともに、併せて組織力の向上や人材育成、施策を効果的・効率的に推進し、生産性を高める体制整備にも取り組む。